

2021（令和3）年度

教育部運営方針

教育部長	木村真彦
教育副部長	堀本昌宏
教育副部長	神代雅光
教育副部長	村田泰伸

地球温暖化による積雪不足は、年を追って深刻な問題となり、昨シーズンは多くの行事が中止となった。西日本では、大規模スキー場の閉鎖がいくつも報じられている。それに加えて新型コロナウイルス感染症対策もあって、スノースポーツを取り巻く環境は非常に苦しいものがあると言わざるを得ない。教育部の各行事も大きな変革の時を迎えているように感じている。既存事業の見直しや新規事業の開拓をすることを通して、少しでもスノースポーツの活性化を図りたい。

I. 講習会内容の充実

- ① 各委員会の積極的な取り組み
- ② 運営の工夫による行事の充実
- ③ 既存事業の見直し、新規事業の開拓

II. 次代を担う指導者の育成

- ① 指導活動の場の提供（所管行事委員会中心での行事運営と改革）
- ② 委員長・副委員長の組織運営への係わりの強化
- ③ S A J 指導者研修会の本県主管開催の維持・継続
- ④ 指導員・準指導員受検者の増加対策

III. 競技部との連携

- ① 競技選手増加の為に側面支援・応援
- ② 競技会への運営協力、参加促進

IV. 中長期ビジョン

- ① スノースポーツ人口の減少、少子高齢化の時代の移り変わりに即した、活動基盤の見直し
- ② スキーヤー・スノーボーダーの増加施策